

報告書を活用した研修の提案

教員の得意分野を活かした単元づくり

それぞれの教員が自分の得意分野を活かし、生き生きと活動できる授業を創造しよう。

ねらいと概要

- ・魅力的な単元を作るためのポイントの共有
 - ・「期待する児童・生徒の姿」の共通理解
- ①授業担当者だけでなく、全員が授業作りに参加
 - ②専門性を活かした学習内容や、学習活動の工夫
 - ③単元や、授業の創造へ

準備等

- ・本報告書
- ・特別支援学校学習指導要領
- ・教師一人一人の専門性を高めるために
(平成25年3月)
- ・研修会の実施単位は、学年、学部等
- ・全員が参加し、授業づくりに備える。

研修プログラム

step

1

あなたの専門性、得意分野を単元づくりに活用

- 本報告書を参考に、単元づくりのポイントを確認する。
- 各教員が、自らの専門性を活かせる単元はどのようなものか、具体的なイメージをワークシートに書き出す。短時間集中を繰り返し、多くの発想を出してみる。

step

2

教員が「今できること」から、児童・生徒が「できること」へのアプローチ

- グループに分かれ、step1の単元構想を持ち寄り、共有する。
- 児童・生徒の興味・関心、生活課題等を踏まえて、単元構想を協議する。
- 本報告書を参考に、指導計画、指導内容、教材・教具等の工夫について検討する。

step

3

単元構想を発表

- 各グループごとに単元構想のプレゼンテーションを行う。
- 全員でアイデアを出し合い、単元の構想を練り上げる。
- 実際の単元指導計画に反映する。

- ◆ 教員一人一人が、自らの教科の専門性を基盤に単元を構想してみましょう。
- ◆ すべての教員が、単元づくりの基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう、組織的・計画的に校内研修を進めましょう。
- ◆ 各学校の特色のある取組について、学校間で情報交換を行いましょう。